

Libra

<http://www.tokeikyo.or.jp/kcon/>

Libra Vol. B015
2009年1月1日発行

発行/岩下貞治 東京都計量器コンサルタント協会
〒105-0022東京都港区海岸1-7-4 東京都計量検定所内
TEL 03-3434-6591 FAX 03-3434-6592

----- CONTENTS -----

- 明けましておめでとうございます ----- ①
計量の基本は「安心、安全、適正な計量」
- 都民計量のひろば ----- ①
アンケート結果
- 東西計コン合同研修会 ----- ②
資生堂鎌倉工場見学
- 平成20年度役員会報告 ----- ②
- 平成21年度総会のご案内 ----- ②



明けましておめでとうございます！ 計量の基本は「安心、安全、適正な計量」であり計コンの理念

会長 岩下貞治

協会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年度の本会事業は、皆様のご協力で計画のすべてを完了することが出来ました。厚くお礼申し上げます。本年度もコンサルタントとして能力向上のため役立つよう研修会、見学会等を企画する予定です。会員多くの参加を期待いたします。

さて、皆様ご承知のとおり、昨年は世界的な経済危機が発生し、日本でも有名な大手企業が次々と減益減収の発表をするとともに人員削減案が浮上し、社会的な大問題となってきました。

また、食品の安全、安心を脅かす偽装や不正も後を断たず、テレビの画面で責任者が平身低頭、消費者を無視した利益優先の企業倫理は到底許されることではないと思います。世の中普通に過ごせるように年明け早々願っております。

計量の基本は「安心、安全、適正な計量」であり、従来より計量器コンサルタントが理念の一つとして揺らぐことなく社会の期待に添うよう努力を続けていることは、ユーザーの信頼を得ることに直結していると信じております。文化、経済、産業、社会生活の安心、安全を築くため、国家経済の基盤と言われる計量の安全確保を担う我々計量器コンサルタント資格者は、研修に励み能力、知識、技術を高め、ますます期待に応えるよう自身の資質向上に励むべきと考えます。

100年に一度ともいわれる厳しい不況の風も、コンサルタント会員の力を結集して乗り切りましょう。会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

都民計量のひろば

毎年恒例の「都民計量のひろば」が今年も、11月1日、東京の新宿駅西口広場イベントコーナーで開かれ、大勢の人が立ち寄りました。

今年のテーマは「くらしと計量」で、サブテーマは「地球のエコとみんなの健康」です。ひろばは、都民計量のひろば実行委員会が主催し、計量関連団体や計量関連企業、東京都計量検定所などが協力してコーナーを設けました。

出店したコーナーは、健康と計量コーナー、食品と計量コーナー、環境と計量コーナー、ガス・水道・電気と計量コーナー、計量体験コーナー、計量相談コーナーです。

健康や環境、食品、ガス・水道といった身近な事柄から楽しみながら計量への関心を高めてもらうため、さまざまな工夫が凝らされました。

計量体験コーナーでは、計量にちなんだマジックや寒暖計の工作が登場。恒例の、手の感覚で小豆をぴったり100gをはかる計量チャレンジは、順番待ちの人が絶えませんでした。

健康と計量コーナーはいつも長い列ができる。血压、体重・体脂肪率、骨強度を計量器メーカーの協力で測定。優良者は記念品をもらって大喜びしていました。



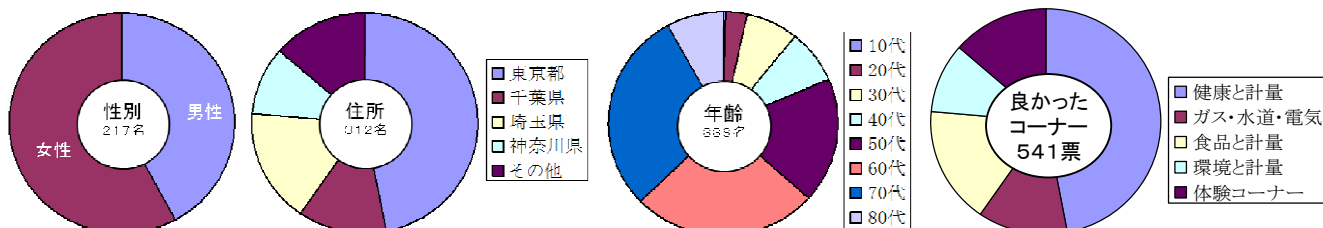
食品と計量コーナーでは、清涼飲料水や身近な飲食物の糖度、塩分、アルコール度を測定し、アンケートも実施（一部の結果を下にグラフで表示）しました。

環境と計量コーナーは、環境に関するパネルや二酸化炭素等の計測器を展示しました。環境への関心は高く、たくさんの人がアンケートに答えていました。

ガス・水道・電気と計量コーナーは、日々の生活を支えるガス・水道・電気のメーターに関するパネル展示やクイズ。

計量相談コーナーは東京都計量検定所が担当。計量に関する相談を受けていました。

都民計量のひろばアンケート結果（回収枚数359枚）



＜第17回東西計コン合同研修会＞ 資生堂鎌倉工場見学（横浜で懇親会）

平成20年度東西計量器コンサルタント合同研修会を東京都計量器コンサルタント協会が主催し、関東・関西合わせて30名が参加して11月27日に実施しました。

今回は神奈川県鎌倉市にある大手化粧品メーカーの「(株)資生堂鎌倉工場」で、化粧品の製造工程を見学したのち、横浜駅西口の飲食店で懇親を深めました。

当日はあいにくの肌寒い雨模様で、昼過ぎに新横浜で関西計メンバーと合流し、午後1時半に資生堂鎌倉工場に到着しました。

まずは、ガイド係による簡単な工場の紹介と、ビデオでの資生堂鎌倉工場の概要説明、厳密な商品管理の説明、生産商品の紹介があり、見学者一同、白衣を着て工場内を見学した。同工場の主力製品である口紅や化粧水、化粧クリーム製品の製造や詰め込み行程を見学した。化粧品で一番価格が高目のものが、1個で5万円すると聞き、参加者から驚きの声が出ていました。

資生堂鎌倉工場は、神奈川県鎌倉市岩瀬1丁目にあり、旧松竹大船撮影所の近くにあります。1959(昭和34)年に、当時は大船工場として操業を開始した。敷地面積36,861平方mの広大な土地に延べ積45,635平方mの工場棟があります。生産品目は、化粧水、乳液、クリーム、美容液、口紅。とくに口紅は、資生堂の国内出荷製品の全てを同工場で生産しており、その生産量は年間1200万本で800色にもおよびます。現在のスティック形状のものから、京都の舞妓が使う昔ながらの京紅も生産しています。その他の化粧水や乳液などを含めると3000品目、年間で8000万個を生産しています。

同工場の従業員は、1100名おり、うち約70%は女性で占めています。製造ラインにはさまざまな検査機が設置されているが、各工程の要所所で人の目による厳しいチェックが一品一品にはいり、機械が見落とした小さな傷やムラ、汚れ着いた製品をはじいていました。資生堂では、同社独自の品質規格を設けて、製品の設計段階で得られた品質と安全性を生産時からユーザーの手に渡るまで一貫して保証しています。材料検査や半製品検査、完成品の色・におい・使用性などが正しく設計基準をみたしているのかどうかを、人の五感をフルに使ってなおかつ複数のパネラーで判断する官能検査を行っています。そのほかワイパー試験、ハンドバッグ試験、X線試験、摩耗試験、容器繰り出し試験、輸送試験などの検査機器による品質検査も行っています。

鎌倉工場は、操業開始以来「品質にはあくまで厳しく、環境には限りなく優しく」を目標とし、2002(平成14)年に、廃棄物ゼロエミッションを達成しています。

見学後の夕方、横浜駅西口近くの飲食店で懇親会を開き、乾杯ののち東西各代表から近況の事業報告が行われ、鍋をつつきながら懇親を深めていました。



＜平成20年度役員会報告＞

- ・第1回 3月26日(水) 13名
20年度事業計画企画、研修会・見学会等、資格取得研修について
- ・第2回 4月22日(火) 13名
技術研修会・研修見学会企画審議、出前教育、精度確認、その他
- ・第3回 5月28日(水) 名
第1回研修見学会企画審議
- ・第4回 9月5日(金) 11名
第2回技術研修会の具体案検討、東西計コン研修見学会企画、その他
- ・第5回 10月8日(水) 10名
東西計コン研修見学会企画審議
都民計量のひろば、出前計量教室、その他
- ・第6回 12月18日(金) 13名
20年度事業報告(案)、収支決算(案)、21年度事業計画(案)、収支予算(案)、総会準備について、その他

＜写真説明＞

説明会場(左・左中)
中庭で集合写真(上)
横浜駅近くの居酒屋「いろはにほへと」で懇親会(右)



総会のご案内

当会では平成21年度総会並びに講演会を予定しています。

日時 平成21年2月18日(水)

場所 アジュール竹芝

東京都港区海岸1-11-2

講演 正確な質量の計量と天びん・分銅の管理

講師 渡部 新一氏

トラー・トレド株式会社

科学機器事業部 技術顧問